

事業所名

スマートキッズソリス南砂町(児童発達支援)

## 支援プログラム

作成日

2025年

2月

19日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。</li> <li>社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。</li> <li>地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。</li> </ul>						
営業時間		10時0分	から	17時30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
支援方法		個別課題			集団・小集団課題			
本人支援	健康・生活	食具、筆記具等生活で使用する物の練習 災害時の対応を身に着ける課題 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題			教室に慣れ、安心して通うためのスケジュールの理解と流れに合わせた活動(〇〇教室ツアー、この前になにができるかな?等) 危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 健康的な生活を送るための基本的な生活習慣・良いルーティンを知る活動			
	運動・感覚	活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 視空間認知の発達や目と手の協調性ためのビジョントレーニング課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題			指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、箱の中身はなんだろう?等) 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等)			
	認知・行動	物の概念(長さ・大きさ等)の獲得に関わる課題 知覚や認知に関わる色や図形を用いた課題(マッチング等) 見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題			色や図形を用いた活動(ブロック、パズル等) 空間把握の認知形成に関わる活動(パズル、ブロック遊び等) 物の上位概念理解を促す活動(仲間分け)			
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題 文字・記号、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を活用するための課題			意思表示の言語と選択のための活動(はい・いいえ・どちらでもない等) 人との相互理解のコミュニケーション活動(顔き、拍手、OKサインの活用等) 文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等)			
	人間関係・社会性	社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 生活場面で必要な場面理解や他者の感情理解の課題(SST) 集団への参加や集団での指示理解のための課題			社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 複数の利用者同士の適切な関わり理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)			
家族支援		保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 保護者会を開催することで、同じような課題やお困り感を持つ保護者同士で交流する機会を持ち、実際に適切な対応を共有することで、家庭に持ち帰って実施できる連続した支援を行う。			移行支援		幼稚園、保育園、他事業所と利用者に対して支援対応を一貫するために、対応方法について定期的に連携を行う。 当事業所で作成の個別支援計画を他機関と共有し、課題として取り組んでいることを日常で実践できるように支取り組むことで、利用者に対する支援の統一を図る。	
地域支援・地域連携		学校とご家庭での課題が違う場合、原因について検討・共有・新たな支援を提案する役割を担うことで、それぞれの環境での適切な対応、また出来る範囲で統一された対応を促し、利用者の成長に繋げる。 各機関での対応や様子を確認し、日常生活でその対応を活かせるように保護者を含めて連携していく。			職員の質の向上		経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。	
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、保護者会、夏祭り、クリスマス会						